

2024年8月30日

各位

三井住友信託銀行株式会社

グリーンローンの契約締結について
(大阪市高速電気軌道株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、大阪市高速電気軌道株式会社(代表取締役社長:河井 英明、以下「Osaka Metro」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「グリーンローン原則」および環境省が定めた「グリーンローンガイドライン」(以下、総称して「グリーンローン原則等」)に則したシンジケーション方式の「グリーンローン」のアレンジャーに就任し、融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

グリーンローンは、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートイングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

Osaka Metro は、「サステナビリティファイナンス・フレームワーク(以下、本フレームワーク)」を策定し、2024年8月30日付で株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、グリーンローン原則等に適合していることについてセカンドオピニオン(※2)を取得しています。なお、本件は本フレームワークに即したグリーンローンの融資契約です。

当社では、グリーンローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<Osaka Metro について>

Osaka Metro は、大阪都心部を網の目状に走る9路線137.8キロメートルの地下鉄ネットワークを運営し、交通インフラとして重要な役割を果たしており、都市型 MaaS 構想「e METRO」を軸とするグループ事業活動ならびに、マテリアリティの解決に向けた取組みを推進し、これまでにない価値を創造し、大阪を格段に便利で快適なまちにすることを目指しています。

<本件(シンジケートローン)の概要>

契約締結日	2024年8月28日
アレンジャー兼エージェント	三井住友信託銀行
組成金額	250億円
資金用途(グリーンプロジェクト)	新型車両(400系車両)、EV(電気)バスの導入に係る費用

<資金使途(グリーンプロジェクト)の概要>

Osaka Metro は、本件により調達した資金を、本フレームワークに基づく下記プロジェクトに充当いたします。

グリーンプロジェクト	概要
<p>新型車両(400系車両)の導入</p> 	<p>使用電力を削減するための回生ブレーキを装備した「VVVF (Variable Voltage Variable Frequency) インバータ制御」を全車両に採用し、車内照明に LED を取り入れることで、省エネルギー化を実現。</p>
<p>EV バスの導入</p> 	<p>走行中の温室効果ガス排出量削減と共に脱炭素に向けた取組みを推進。 また、EV バスは騒音が少なく、乗り心地に優れており、お客さま満足度の向上も推進。</p>

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) グリーンローン原則等への適合性についてのグリーンローン評価

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上